

AEDを使った心肺蘇生、三角巾を使ったきずの手当



●今回の講義で心肺蘇生、三角巾の使い方、止血法について学ぶことができました。

今回1番印象に残ったのが、心肺蘇生です。今回の講義では、心肺蘇生の一連の流れを人形を使って、実践するというものでした。今まで、心肺蘇生の動画などを見たことがありましたが、実際に人形を使うのは、初めてだったので良い経験となりました。今回は授業なので、落ち着いて行動することができましたが、実際目の前で人が倒れていたら、今回のように冷静に対処できないと思いました。協力者を求める時、周りにはクラスメイトがいたので、すぐに声をかけることができましたが、周りに知人が居ない状況で、119番通報とAEDの手配を頼むことを少し戸惑ってしまうような気がしました。だから、これからはあまり知らない人とも会話をして、このような状況になった時に直ぐに声かけられるようにしていきたいです。

胸骨圧迫は、想像していた時よりしんどくて驚きました。あと、人形だったので何も思うことなく、胸骨圧迫をすることができましたが、もしそれが人間だったら、あばら骨が折れてしまったらどうしようなどと不安が沢山あると思いました。死ぬより、あばら骨が折れても死なない方が良いと思いますが、胸骨圧迫を行った側からすると少し罪悪感が残ると思いました。もし、私が胸骨圧迫を行い、あばら骨が折れていると分かたら罪悪感が押し寄せてくると思いました。しかし、それでも助かる命が目の前にあるなら全力を尽くそうと思いました。

今回の講義を受けて、初めて会った人ともすぐコミュニケーションを取れるようにするために、日頃から意識して過ごそうと思いました。そして、いつどこでなにごこっても、落ち着いて、対応が出来るように沢山の方からお話を伺い、知識をつけていきたいです。

●私は赤十字について知る学習で特にAEDの使い方を学べたことが良かったです。私は今まで倒れている人を見たり、実際に自分が助ける側になった経験が一度もありません。救命措置の流れについては中学校で一度は習っていたものの、細かいことはほとんど忘れていました。いざという時に今回習ったことを思い出せるか心配になりました。しかし、ノートにメモをしておくことで何回でも見返せると思い、ポイントとなることなどをメモしました。書きながら疑問に思ったことを指導者の方に質問したら「いい質問だね」と言って下さったので些細なことでも質問してみんなと共有することが大事だと思いました。今回の授業で初めて知ったことや気づいたことがたくさんあったので実際の現場で活用できるよう、しっかりと繰り返し復習して少しずつ身につけていきたいです。



